

ライブ毎刊びゃっきープレス

2005

無料配布
あたりまえ

9月3,4日号
ライブ当日発行

byacky press

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp
配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人



役にたたない偏重サイト
情報がグレードダウン!!

アクセス不要
http://www.satram.jp/
info@satram.jp

鍵盤故障

十年でござすがに限界が



自宅練習用ピアノ ローランドRD-500

8月29日夜中、びゃっきーがピアノを練習していると突如中央付近の「E」の鍵が下りなくなりました。故障箇所を確かめるため電子ピアノを分解。ハンマー部分が折れてつかえていることが判明。故障箇所の修復は難しく、折れた部分を取り除き組み立て直すも、「E」の違和感はぬぐいきれず、ライブを前にしてびゃっきーは困惑の様相を呈している。

8月27日(土)のライブを終え、次の9月3日(土)のライブに向けて猛練習をしている最中にそれは起こった。
8月29日夜中、びゃっきーがいつものように電子ピアノを弾いていると、突如「E」の鍵盤が下りなくなりました。何がずれたのか、はずれたかしたのか、は、と考え強く鍵盤を押ししてみたりしたが、一向に事態は変化の兆しを見せない。いずれにしても、電気的な部分の損傷ではなく、物理的に鍵盤が下りなくなっているため、内部を確認する意味は大きいと判断し、そのまま解体作業へと移行した。
解体中にはネジが大量にはずされることが予想されるため、予めタツバウエアを5つほど用意。ネジ種ごとにタツバウエアを分けて入れていく。
外側に見えているネジをあらかじめはずすと本体上部のカバーが開くようになった。鍵盤などが顔を覗かせ、いやがおうにも気分が盛り上がりつつくる。だんだんと核心に迫るその感覚は、探偵のそれにも似ている。じつちゃんの名にかけて黒づくめの男を追っていたら、容疑者がどんだん死んでいき、最後には犯人は二択になっていた、そんな感じだろうか。いや、全然違うだろう。探偵のことはどうでもいい。

本体カバーをはずした後、今度は内部のネジをはずしていくと、鍵盤一式がはずれるようになった(右写真)。そしてついに原因となっていた部分を発見。「E」の鍵盤のハンマーが折れ、それが邪魔になって鍵が下りなくなっていた。あまり使わない端の方の鍵盤と取り替えようかという話もあったが、鍵盤は一つのユニットのようになっており、1鍵盤だけはずしたり付いたりするのは至難の業。やむなく該当の折れたハンマー(左下写真)だけ取り出し、組み立てなおすことになった。
電子ピアノのハンマーは、タッチレスポンス(本物のピアノに似せて、鍵盤の跳ね返りを調節する、および音の強弱の調整)のためのものなので、ハンマーがなくなっても音が出る。組み立て後、実際に弾いてみたところ、その音だけうまく鳴らなかつたり、逆にやけに大きな音でなったり、だんだんと気分も悪くなってくる。とりあえず修理を依頼する



取り外した鍵盤



故障したハンマー部分

ことにして、その日は終了。
当面は家で練習することがかなわないため、スタジオでの練習にも時間的にも生活に圧迫するため、早めの修理が期待される。とはいえ、サラリーマンの悲しき、土曜日ぐらいしか修理を依頼できない。3日はライブのため、10日に修理をすることになった。
「家ならではの練習もあるんですよね。非常に困りますね」とびゃっきーは苦笑交じりに話した。そして何度か軽く鍵盤に触れた後、無念そうに電源を落とした。
(哀戦士)